「季節の花 300」
http://www.hana300.comより
（写真・説明文引用）

鶏頭(けいとう)
花言葉…おしゃれ、色褪せぬ恋など

熱帯アジアなどの原産。日本には万葉時代にはすでに渡来していた“古株”。花が鶏の鶏冠（とさか）状に見えるのでこの名前になった。花が丸くなって咲くものや、槍のようにとがるものなど、いろいろある。色は赤いものがほとんど。だいたい色のものもある。昔は草染めの原料として利用された。

花のお便り

2014.9　No.99

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

1時間の雨量が100ミリを超える映像が連日報じられ、水の脅威を改めて実感した夏だった。キャンプ場で車ごと濁流に。鉄砲水により登山道で流される。通常は僅かな流れだったが、3時間で大規模な土石流となり、多数の死傷者・行方不明者が出た広島市の惨事は心が悼む。我が国は70%以上が山間部との特殊性から、勢い傾斜地での宅地開発が優先されてきた。近頃の気象変動もあり、早期の対策が急がれる。

プリントアウトは弊社でも。勿論コピーも

弊社の出力機は、デザインしたデータのプレゼン用にZ社のオンデマンド機を使用し、好評を頂いております。コピーサービスも行っておりますが、依頼者からはその画像の美しさから、リピートのお客さまが絶えません。その秘密は出力機のクオリティーの高さにあり、画像の解像度や高精度のトナーなど、通常、事務所などで使用されているコピー機では表現が出来ないものをカバーします。さらに週一回は、キャリブレーションという色補正を行い、機械に問題があればサービスマンが即時に解決する体制となっております。御社でコピー機などで出力していた、DM・チラシ・カード・パンフレットなど、小ロットの出力などがありましたら是非お試しください。料金もリーズナブルな価格に設定してお待ちしております。

疑問に答えます。⑦ 校正の間違いについて

他の印刷会社で自分史を印刷したが、原稿と違う文字が印刷されていたとの話しがありました。校正は自分で3回行ったが、原稿との違いに気がつかなかったが、印刷会社にこの点の代償は求められるかとの質問でした。依頼者は原稿を正しく書いたので納得いかないでしょうが、校正を自ら3回行っていることが注目する点で、この事実を考えると印刷会社に責任が及ばないこととなります。印刷会社に校正も含め依頼すれば（別料金）責任関係は違ってきます。さらに上質な本の作成を考える場合は、印刷会社に校閲まで依頼（別料金）することで、依頼者の文章や文字の間違い、語句の事実関係などまで含め訂正をしてもらうことができます。しかしかなりの料金となりますので、個人で依頼する印刷には不向きかもしれません。今回の質問者の場合は、手書きの原稿ということで校正ミスが発生しましたが、デジタルデータ（ワードなど）での入稿であれば、校正ミスを防ぎ納期の短縮も可能となります。それでも、入力データの文章や文字校正を事前に徹底して行い、間違いがないことを確認して印刷会社に依頼することが必要となります。

気まぐれエッセイ　谷地温泉で無言の入浴

雨、雨、雨の連続。おまけに夏だというのに20度前後の日々と、今年の夏休みは避暑地にいった気分だった。それでも最終2日間はしっかり岩魚を釣り大物をゲットした。雨で岩魚釣りも出来ず時間が出来たので、田舎館町のたんぼアートを楽しみ、弘前城を隅々まで見学。観光会館で女性スタッフの素敵な応対に感謝し、弘前市役所を設計した前川國男氏は、世田谷区役所も設計していたことを知り感激。おまけに千人風呂で名高い酸ヶ湯温泉にも入湯する機会に恵まれた。八甲田の秘湯、谷地温泉にも宿泊。奇妙な入浴風景に出くわした。宿の外観といえば誠に古めかしく、山小屋風であるが、内部はしっかり？とした造り。食事も料金を考えれば満足のいくものだった。さて、風呂をのぞくと白濁の硫黄泉で湯温は約40℃くらい。隣に透明な単純泉らしき低温（約30℃くらい）の二つの風呂がある。後で聞いたのだが低温の風呂に30分、高温の風呂に10分を繰り返し入るのが正式な入浴法らしい。さて私は先ず硫黄泉の風呂に入り、おもむろに単純泉に入浴した。すると低温のためか、ほぼ全員が前を凝視したまま無言で身動きもしない。しかたなく私も付き合ったが、その静寂さにいたたまれず15分ほどでギブアップ。そそくさと出てきた次第でありました。確かに短い時間であったが、下からだんだん温まるのは実感した。